

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	防犯体制の整備		電話番号	087-839-2555
	基本事業	防犯施設の整備		事業実施主体	市
	事務事業	防犯組織・環境整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	夜間における犯罪の防止と通行の安全を図るため、地域の単位自治会が所有する防犯灯の新設、移設及び補修並びに電気料金の助成を一般社団法人高松市コミュニティ連合会に対して行っている。また、防犯協会の行う防犯活動事業に対する助成を行うとともに、公益財団法人香川県暴力追放運動推進センター・公益社団法人かがわ被害者支援センターへの負担金を支出している。				
3年度概要	1 防犯灯新設等助成金	2 防犯灯撤去	3 各地区防犯協会補助金	4 香川県暴力追放センター負担金・犯罪被害者支援負担金	5 その他事務費
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業 (法律による実施義務無)		

【事業の目的】

対象(何を)	全市民
意図(どのような状態にしたいか)	防犯灯の維持管理が適切に行われることで、市民の夜間通行の安全を確保する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
各種団体への負担・補助件数	件	10	9	9	8	12

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
総防犯灯数	灯	目標値	27,188	27,188	27,188	27,188	27,188
		実績値	29,293	29,247	29,558		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 108.7% 35点
防犯灯数は、環境の変化により不要となった防犯灯を撤去する必要性もあり、総合的に判断する必要がある。 令和2年度については、助成制度の活用により165灯の防犯灯が新設された。 また、高松市防犯協会より131灯が地域に移管された。							
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	83,183	84,601	79,984	85,985
(事業費)	[円]	79,402	80,807	76,243	82,244
(職員人件費)	[円]	3,781	3,794	3,741	3,741

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

全ての防犯灯新設の要望に対応することはできなかったが、助成制度の活用により、165灯の防犯灯が新設された。また、高松市防犯協会より131灯が地域に移管された。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

防犯灯は、市民が安全で安心な生活を営む上で、全市域をカバーすべきと考えているが、自治会加入率の低下により、自治会に加入していない地域や自治会未結成のエリアが増えてきており、防犯灯を設置しても助成を受けることが出来ないため、設置をしない地域が見受けられることから、補助制度の在り方について見直す。
